

美術Ⅱ

1. 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 使用教科書

高校生の美術2（日本文教出版）

3. 指導計画

学 期		学 習 内 容	学 習 活 動
前	4~6月	【ガイダンス】 ・ 芸術を考える	・ 教科書鑑賞から芸術について考える
		【絵画・彫刻／鉛筆デッサン】 ・ 物をじっくり見つめて描くことを通して、それらの良さや存在感を感じ取り、表現する	・ 形の特徴や微妙な陰影の変化のみならず、量感や空間まで感じ取り、細やかに表現することができる
期	7~8月	【鑑賞】 ・ 好きな画家を選択し、画家とその作品をプレゼンテーションする	・ 好きな画家や作品を詳しく調べる事で、良さを感じ取るとともに、より美術史や流派を理解させ、自分の考えを持って作品を鑑賞できるようになる
	9月	【映像メディア表現】 ・ 構図を工夫して撮る	・ カメラの機能を活用して、構図を工夫しながら主題に適した表現をする事が出来る。
後	10~12月	【デザイン／ポートフォリオ制作】 (Portfolio：自分の能力を周囲に伝えるための自己作品集) ・ 3年間の総まとめとして、過去の作品の見直しや作品の追加をし、ポートフォリオを制作させる	・ 自分の考えや想いに適した表現方法と材料を決めさせる ・ テーマに合った表現方法を選択することができる
	1月	【鑑賞／作品展】 展示活動を通して、一年間の学習を振り返る	・ 展示を通して、作品への愛着心や他者の作品への理解を高める

4. 評価規準と方法

【評価規準】

- 授業の目的を理解して、意欲的に取り組むことが出来る
- 自己の感性や想像力を働かせて、主題にふさわしい構想を練ることが出来る
- 意図に応じて表現方法を工夫し、効果的な表現が出来る
- 自分や他者の感性を尊重しながら、作品の良さを総合的に味わうことが出来る

【評価方法】

課題作品、課題プリント、自己評価表、授業態度・意欲